

## 《写真甲子園2017 Q&A》

### ○写真甲子園が目指すものは？

本戦大会だけが写真甲子園ではありません。初戦でみんなが同じ目標に向かって話し合い、作品を作り上げるプロセスこそが写真甲子園の求める精神です。

本戦大会では、撮影場所や時間、カメラ、記録メディアやパソコンなど、スポーツ競技のように同一条件下で作品づくりが行われます。

短時間にたくさんの作品を撮り、組写真を作り上げるためには、知恵と工夫と体力そして何よりも充分なコミュニケーションが必要です。入り口は大会でも、出口は勝敗を超えた出会いや感動、そして人間として大きく成長してほしい。出会いと感動こそ写真甲子園が目指すものであり、選手たちへの最大の贈り物なのです。

### ○初戦応募について

#### (1) 写真甲子園への応募資格は？

全国の高等学校から高校生3名でチームを編成し、応募してください。

全日制、定時制は問いません。写真部ではなくてもチームを新たに結成し、応募することができます。ただし、1校から1作品の応募となります。複数応募はできません。

応募に当たっては、連絡調整や本戦大会での監督役として、担当顧問の先生1名の参加が必要となります。

#### (2) テーマや題材は決まっていますか？

作品のテーマや題材は自由です。作品は8枚の組写真を1作品としてプリントで応募いただきますので、テーマや方向性を設定し、組写真づくりを進めましょう。

#### (3) 他のコンテストに応募した作品でも大丈夫ですか？

応募作品は未発表作品（他のコンテスト等で入選されていない作品）に限ります。

※応募作品の中で1点でも違反している又はその疑いがあると判断できる場合は、ブロック別公開審査会や本戦大会への出場を取り消すことがあります。

#### (4) 作品の応募規定は？

①作品は応募時点で学校に所属する学生本人が学校入学後に撮影したものとします。

②作品の加工[写真の合成、写真に写っているものを消去する（レンズのホコリや小さなゴミを除く）等]がされていないものとします。多少のトリミングや明るさの調整やコントラストの調整、彩度の調整は加工に含まれません。

※応募作品の中で1点でも上記①、②に違反している又はその疑いがあると判断できる場合は、ブロック別公開審査会や本戦大会への出場を取り消すことがあります。

#### (5) 作品の提出方法は？

①作品は8枚の組写真を1作品としてプリントで応募してください。

撮影はデジタルカメラ・フィルムカメラどちらでも構いません。（本戦はデジタルカメラを使用し、撮影機材は事務局にて全校同一のものを貸し出します。）

## 《写真甲子園2017 Q&A》

プリントは、白黒・カラー又は混在を問いません。

プリントのサイズはA4とし、このサイズ以外での応募は審査の対象としません。

※デジタル作品の場合は、プリントのほかに画像データ（ファイル形式：JPEG）をCDに焼いて一緒に提出してください。）

②作品裏面には、規定の『応募票』を作品の縦横に合わせ、作品番号順に貼付してください。

③「応募用紙」は必要事項を漏れなく記入し、作品とともにお送りください。

※応募作品の送付は郵送、宅急便を問いませんが、送付中の事故には一切責任を負いません。

※応募作品は返却いたしません。

※応募作品は、写真甲子園実行委員会が主催・共催・後援などを行う展示会や印刷物やWebサイトや出版物、テレビなどに使用することがありますのでご了承ください。

### (6) 「応募用紙」記入上の注意

学校長印は必ず押印ください。押印のないものは受付をすることができません。

学校名は正式に、学校住所は都道府県より記入ください。

生徒氏名等（作品制作者）は必ず3名の氏名を記入ください。

応募作品タイトル、応募作品種類は必ず記入ください。

### (7) 応募要項や応募票、応募用紙はダウンロードできますか？

写真甲子園オフィシャルサイトよりダウンロードできますので、印刷してご使用ください。

(<http://syakou.jp/>)

### (8) 応募締切について

応募締切は2017年5月19日（金）必着です。消印ではないので、ご注意ください。

書類の不備なども考えられますので、余裕を持ってご応募ください。

受付された学校にはFAXにて受領通知を送信しておりますので、ご確認ください。

締切を過ぎて応募された作品は受付となりません。受付とならなかった学校には、その旨をFAXにて通知します。（作品の返却を希望される場合には、事務局までご連絡ください。）

### (9) 初戦応募すると何か特典はありますか？

協賛・協力いただいている企業より写真用紙などのプレゼントがあります。ぜひ初戦応募の作品づくりのためにご活用ください。詳しくは応募要項をご覧ください。

### (10) 写真甲子園について、もっと詳しく知りたい。

写真甲子園オフィシャルサイト内にて過去の実施報告書や写真甲子園10周年記念「写真甲子園への道」（いずれもPDFデータ）を掲載しておりますので、ご覧ください。

2014年3月に、「写真甲子園20年の軌跡1994-2013（北海道新聞社）」が出版されました。歴代の応募作品・本戦提出作品から約6,000点を収録した集大成写真集です。立木義浩審査委員長の選んだベストセレクションやインタビューも収録されておりますので、こちらもぜひご覧ください。

■北海道新聞社の本 [http://shop.hokkaido-np.co.jp/book/products/detail.php?product\\_id=502](http://shop.hokkaido-np.co.jp/book/products/detail.php?product_id=502)

## 《写真甲子園2017 Q&A》

### ○代表校決定までの流れ（第22回大会より初戦審査方法が変わりました。）

#### （1）初戦審査会はどのように行われますか？

初戦審査会は写真家・立木義浩氏、竹田津実氏、長倉洋海氏を始め、ほか雑誌社編集長などで構成される審査委員によりブロック別（日本全国を11ブロックに分けています。）に審査を行います。

初戦審査会では、ブロック毎に審査委員全員による心・技・眼を念頭に置いた採点（30点満点）を行います。採点にあたっては、応募用紙記載の内容を見て、実際に作品を評価する形で進められます。（ただし、採点時は応募用紙に記載の学校名は伏せて、どこの学校の作品かということは、分からない状態で採点します。）

ブロック毎に各学校の点数を集計し、審査委員による合計得点順にブロック別公開審査会進出校を決定します。

ブロック別公開審査会進出校枠は各ブロックの代表枠×5倍の数とします。代表枠が1校のブロックは上位5校、2校となるブロックは上位10校、3校となるブロックは上位15校となります。

#### （2）初戦審査会結果（ブロック別公開審査会進出校）はいつ発表されますか？

5月26日（金）17時に写真甲子園オフィシャルサイトにて行います。また、ブロック別公開審査会進出校にはFAXにて決定通知及び事務連絡を送信します。

#### （3）ブロック別公開審査会（代表校決定戦）はどのように行われますか？

ブロック別公開審査会進出校は、ブロック毎に主催者の指定する日時・会場において、初戦応募作品の制作意図やねらいを発表し、審査委員へプレゼンテーションを行います。（プレゼンテーションは、応募用紙に記入いただいた作品制作者3名により行います）。

発表方法は本戦大会の公開審査会と同様の形とし、口頭で発表（各校2分以内）していただき、作品はプロジェクターで映写されます。（本戦大会の公開審査会の様子は写真甲子園オフィシャルサイトでご覧いただけます。）

審査委員は、写真家・立木義浩氏、竹田津実氏、長倉洋海氏を代表審査委員とし、活躍されている写真関係者や各ブロック地方新聞社写真部長などを含めた3名です。

ブロック別公開審査会は一般公開で行い、すべての公開審査会進出校の発表を終えたあと、代表審査委員よりブロック代表校の発表を行います。

服装は、学校指定の制服がある場合、制服着用とします。学校指定の制服が無い場合は、華美にならない服装でお願いします。

また、学校最寄駅から審査会場最寄駅までの交通費は主催者が負担します。最寄駅までの交通費は、各自負担となります。

## 《写真甲子園2017 Q&A》

開催日	ブロック	開催都市	審査委員	
6/10(土)	北海道	札幌市	竹田津 実	写真関係者・ 写真部長など2名
	東京	東京都	立木 義浩	
	九州・沖縄	福岡市	長倉 洋海	
6/11(日)	東北	仙台市	立木 義浩	
	北関東	さいたま市	竹田津 実	
	南関東	横浜市	長倉 洋海	
6/17(土)	北陸信越	長野市	竹田津 実	
	東海	名古屋市	長倉 洋海	
	四国	徳島市	立木 義浩	
6/18(日)	近畿	大阪市	立木 義浩	
	中国	広島市	長倉 洋海	

### (4) 代表枠はどうやって決まるの？

それぞれのブロックの代表枠は、各ブロック1枠ずつの通常枠11校と、応募数により出場枠の配分が決定する倍率枠（下記※のとおり）7校を振り分け決定します。

※倍率枠（ドント方式）：全国11ブロック中、各ブロックの総応募数をそれぞれ1. 2. 3. 4という正数で順次割っていき、割った商の大きい順に出場枠を配分します。応募校数が多いほど、そのブロックの出場枠を獲得できます。誘い合って本戦出場のチャンスを広げましょう。

## ○本戦大会について

### (1) 大会期間はいつですか？

2017年7月25日（火）～7月28日（金）の4日間が大会会期となりますが、招聘期間は7月24日（月）～7月30日（日）までの7日間となります。緊急時以外は全行程参加を原則とします。

（スケジュール予定）7月24日（月）代表校東川町入り  
 7月25日（火）～7月28日（金）大会会期  
 7月29日（土）国際写真フェスティバル参加 等  
 7月30日（日）解散

### (2) 大会会期が終わったら帰ることは可能ですか？

招聘期間は全行程参加が原則となります。本大会は「東川町国際写真フェスティバル」期間中に開催しており、高校生たちが、北海道の豊かな風土の中で、本物の写真と出会い、より広く、より深く学ぶ機会となるよう会期を設定しています。閉会式翌日には写真に関する様々なイベントが行われており、高校生向けのポートフォリオレビューなども開催されています。

また、土曜日の夜には出場選手交流会・監督交流会が開かれ、全国から集まった仲間たちとの交流を十分に楽しんでいただきたいと思いますので、最終日までご参加ください。

## 《写真甲子園2017 Q&A》

(3) 東川町までの交通費はどうなりますか？

学校最寄空港から東川町までの交通費は主催者が負担します。(最寄空港までの交通費は、各自負担となります。)

北海道ブロックの代表校は、最寄のJR駅から東川町までの交通費を主催者が負担します。(最寄のJR駅又は都市間バスターミナルまでの交通費は各自負担となります。)

(4) 東川町までの旅程はどのように決めればよいですか？

旅程は、代表校決定後、主催者が指定する旅行会社よりご連絡をいたします。旅行会社担当者と相談の上、決めていただきます。招聘期間外の交通費や宿泊費等は各自負担となります。(前泊・後泊等の場合)

(5) 大会期間中にケガをした場合はどうなりますか？

大会期間中の傷害保険は主催者側で加入します(万一の場合は、保険の範囲内)が、旅行・傷害保険等に各自加入されることをお勧めします。

(6) 大会期間中の交通手段はどうなりますか？

大会期間中の交通手段は、主催者が用意するバスを利用していただきます。

大会期間中の移動(宿泊先～撮影地～主会場間)は、主催者で用意するバスを利用します。

(大会終了後の自由行動日など一部を除く)

(7) 招聘期間中の食事・宿泊はどうなりますか？

①7月24日の夕食～7月30日の朝食までの食事は主催者で用意いたします。

ただし、自由行動日となる7月29日の昼食は各自負担となります。

②7月24日～7月30日までの宿泊は主催者で手配します。

宿泊先は、キトウシ森林公園家族旅行村ケビンとなります。チームワークを重視し、各学校単位で選手・監督の合宿スタイル(ケビンは複数の部屋に分かれており、男女が別に宿泊できるようになっています。)となります。ただし、一部他校と同じ棟に入ることがありますのでご了承ください。また、大会初日(7月25日)の夜に全校1泊のホームステイがあります。

■キトウシ森林公園家族旅行村ケビン <http://www.kazokuryokoumura.jp/stay/index.htm>

(8) 本戦大会はどのように競い合うのですか？

本戦大会では、複数の写真で一つのメッセージを伝える組写真を、3人が1チームとなり力をあわせて創り上げてもらいます。撮影場所・撮影時間・撮影機材はもちろん、大会期間における生活面にいたる様々な事柄まで、本戦出場校が全て同一条件となる合宿スタイルによって運営されます。

(9) 大会期間中の服装はどうなりますか？

選手・監督用の大会オリジナルTシャツを1人4枚事前に送付します。このTシャツは、大会期間中、監督、選手のユニフォームとなりますので必ず着用してください。Tシャツは、学校名を入れたり、油性マーカーなどでカラーリングしても構いませんが、Tシャツの色で選手とスタッフの区別をしておりますので、全体を「赤・黄・紺」に染めることは禁止しています。

また、開会式では、学校指定の制服がある場合、制服着用とします。学校指定の制服が無い場合は、華美にならない服装でお願いいたします。

## 《写真甲子園2017 Q&A》

(10) 使い慣れた自分のカメラで撮影してもいいのですか？

選手・監督のデジタルカメラの持ち込みは一切禁止しています。大会中の記録は、フィルムカメラ又はムービーカメラとされますようご協力をお願いします。なお、ムービーカメラについては、動画機能のみを使用して下さい。(それ以外の静止画機能等の使用は認めません。)

撮影は、主催者側で用意するデジタルカメラ及び機材、メディアによって撮影していただきます。

本戦出場校には事前に本戦で使用する撮影機材を貸し出し(デジタルカメラ、プリンター)いたしますので、操作に慣れるよう十分練習をすることができます。

大会初日のオリエンテーションにおいて、貸出機材説明を行い、メディアを配布します。メディアが選手の手元に渡った瞬間から撮影が始まっていますので、主催者が提供する撮影地以外で撮影することも可能です。

各校に配布するメディアは1人あたり8GB2枚、計6枚です。配布するメディアには各学校名が記載されたシールがついており、学校名シールのついていないメディアは使えません。

写真の記録画質等は、主催者が指定する方法で撮影を行います。また、動画モードの使用・動画モードでの撮影は禁止とします。

持ち込み可能な撮影機材として認めているものは原則として三脚(又は一脚)とレフ板のみです。

なお、大会終了後デジタルカメラを使用したい場合は、配送日を指定して受け取りできます。

(11) 携帯電話やタブレットなどのカメラで撮影してもいいのですか？

原則として、デジタルカメラが持ち込み禁止であるのと同様に、誤解を受けるような行為となりますので、撮影は望ましくありません。ただ、現在の文化的な背景を考えると、個人的な記録やこれらで撮影した写真をSNS等のネットワークで公開することの全てを事務局側が制限することは望ましくない一面もあります。デジタルカメラが持ち込み禁止であることをご理解の上、違反行為ととられないようご使用ください。

ただし、写真をネット等で公開する場合の肖像権などは、各自の責任の上で行ってください。

(12) 顧問の先生が撮影に参加することはできますか？

顧問の先生は監督です。選手の自主性を大切にしたいアドバイスのみが許されています。

次に掲げる行為はできません。

- ①監督が撮影ステージにデジタルカメラを持ち込むこと
- ②選手のカメラに触れること
- ③選手のカメラのファインダーを覗くこと
- ④液晶モニターで撮影した画像を確認すること
- ⑤レフ板などを持って撮影に参加すること
- ⑥監督がパソコンを操作してセレクトすること
- ⑦テクニカルタイム以外でセレクト指導をすること

(13) テーマや撮影場所はいつ発表されますか？

3日間の撮影テーマは撮影前日に発表されますが、撮影ステージは撮影日の前日に発表されます。大会マニュアルやマップを参考に、撮影時間・バスの運行時間を考え、撮影方法や役割を事前に十分話し合しましょう。

## 《写真甲子園2017 Q&A》

(14) 撮影したメディアはいつ提出するのですか？

メディアはステージごとに回収する時間や場所が決められています。1度のメディア回収に1校必ず3枚の提出となりますので、計画的に撮影してください。

決められた集合時間やメディアの提出時間に遅れると減点の対象となります。

(15) 競技中にタクシーや自転車などの乗り物を使用してもよいですか？

ケガや事故など緊急の場合以外は、タクシー、レンタル自転車、キックボード類などの使用は禁止しています。

(16) 撮影地での基本的なマナーを教えてください。

撮影ステージ内でも、撮影禁止や立ち入り禁止の場所があります。事務局で把握している場所については、事前に説明をしますが、私有地については、原則として所有者の許可を取ってから撮影して下さい。特に田畑・牧場等での撮影については、病虫害の持ち込みや農作物・家畜の保護の問題もありますので、他の撮影地同様、私有地ですので、所有者の許可を得てから、立ち入り及び撮影を行うようにして下さい。

①立ち入り禁止場所や危険な場所での撮影を禁止します。

②無断で農地に入っただけの撮影は、禁止します。

③農作業の邪魔にならないように注意してください。

④人物の撮影の際には、相手の了解を得てから撮影をしてください。

また、商店や施設などで撮影する場合も必ず了解を得てください。

⑤ゴミなどを撮影地に捨ててはいけません。

(17) 貸出機材やメディアを紛失した場合にはどうなりますか？

オリエンテーション時に渡される貸出機材やメディアなどは、全て自己管理となります。各自の持ち物とともに紛失のないよう十分注意しましょう。紛失などの場合、実費弁償をしていただきます。

また、撮影機材の持ち運びは、監督など、選手以外がすることはできません。

(18) 撮影機材の故障や使い方がわからなくなった場合はどうしたらよいですか？

各撮影地の現地本部及び大会主会場では、キヤノンサポートスタッフが撮影機材のヘルプデスクを開設しています。撮影機材のことでわからないことがありましたら気軽にスタッフに相談してください。

○各撮影地⇒現地本部

○主会場（改善センター）⇒キヤノンルーム

※提出された作品及び選手や監督が写った大会記録写真は、各学校の許可なく大会の宣伝や広報活動に使用することがありますので、ご了承ください。

## 《写真甲子園2017 Q&A》

### ○セレクト会議について

(1) セレクト会議はどのように行うのですか？

撮影地で回収したメディアを大会本部でバックアップ処理を行い、選手セレクト用のパソコンに画像の取り込みを行います。

その後は、パソコンの“Digital Photo Professional”というソフトを使用し、撮影した写真をセレクトしていきます。(詳しいセレクト方法は、オリエンテーションで説明します。)

セレクト会議の時間内に、提出する作品8枚を選び出し、その順番、タイトルなどを決定します。

(2) セレクト会議は選手だけで行うのですか？

セレクト作業は原則として選手のみで行っていただきますが、大会本部で設定したテクニカルタイムのみ、監督が作戦会議で指導することができます。

### ○公開審査会について

(1) 公開審査会はどのように行われるのですか？

公開審査会は、あらかじめ抽選により決められた発表順に従い、審査を進めていきます。学校毎に撮影意図などを口頭で発表(1分以内)していただき、提出作品はプロジェクターで映写されます。

発表作品について、審査員から質問や講評をいただき、＜心・技・眼＞の3つの要素を基に、審査・得点がつけられます。

(2) 得点はどのように決まっているのですか？

ファースト・セカンド・ファイナル3回の公開審査会での合計得点により優勝他各賞が決定します。

ファースト・セカンド公開審査会は＜心・技・眼＞の3つの要素を基に各10点、30点満点となりますが、ファイナル公開審査会は得点が1.5倍となります。